



手をとりにあって

【文責】
かとう学園 Co
高田 英也

4月6日の始業式から3ヶ月程が過ぎ、7月20日に、無事に1学期の終業式を迎えることができました。コロナ禍でも学校行事の多くを実施し、GT(ゲスト・ティーチャー)等を迎えてのその学年でしかできないことを経験させることができました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。

7月21日からは、子どもたちが待ちに待った夏休みになりました。地域では、いろいろな取り組みを予定してあります。ぜひ、学校ではできない体験をしてほしいと思います。また、学校には、いろいろな作品募集がきています。その中から、特に夏休みに合った内容や、学校の学習にも合った内容、地域に根ざしたもの、普段なかなかできないじっくり時間をかけて取り組むようなものを選び、自分で決めて、自分で選んで自ら取り組んでみてはいかがでしょうか。

かとう学園でめざす子どもの姿とは？ ～第2回 かとう学園 学園運営協議会～

6月29日(水)に河東小で、令和4年度第2回 かとう学園 学園運営協議会が開催されました。

今回は、かとう学園の学園評価項目について協議した後、前回の熟議を受け、学校・家庭・地域で方向性を共有するため、期待する子どもの姿についてグループで熟議をしました。かとう学園の道德教育の目標や前回の熟議のまとめを参考に、前半では「自立」「協働」について、後半では「創造」について、地域・家庭として、どんな子どもになることを期待するのかについて熟議を行いました。

最後に、安部会長より「夢を持って、夢を語れる子どもや人に優しく、命を大切に子どもを育てていきたい。そのために、地域では、できるだけ体験活動を多く実施していきたいと考えている。また、自己主張が弱いという面もあるので、自分のことが自分で言える子どもが育てられるように、学校と地域、保護者が協力していきたい。」という話がありました。



【安部会長の挨拶】



【運営協議会での熟議の様子】

かとう学園の読書活動 ～読書ボランティア～

かとう学園では、教育目標「夢と志を持ち、自ら学び実践し力強く未来を切り開く児童生徒の育成」実現のため、読書活動にも力を入れています。読書活動を通して読書に親しむ習慣を身につけさせ、豊かな想像力と人間性を育成するようにしています。読書指導では、前期【小学校1～4年】では、「楽しむための知識を得るために、目的や必要に応じて、本や文章を選んで読む。」中期【小学校5～中学1年(7年)】では、「目的に応じて適切な本や文章などを複数選び、比べて読む。」後期【中学2年(8年)、中学3年(9年)】では、「朝読書などを通して、読書を楽しもうとする態度を養い、読書の習慣をつけさせる。」ことを目標としています。地域の読書ボランティアに来てもらうことにより、子どもたちの読書意欲が高まっています。



【河東西小でのお話会の様子】



【河東西小でのねこのての読み聞かせ】



【河東小でのスマイルキッズの読み聞かせ】



【河東中でのあかねの会の朗読】

15の選択肢～河東中

「進路講演会」～

6月の学校の日、河東中で進路講演会がありました。河東中8、9年生と保護者が対象で、8年生は福岡工業大学附属城東高等学校の松尾智晴教頭先生を、9年生は九州国際大学付属高等学校の小林剛志先生を講師に招き、高校入試の話はもちろん、人生には様々な選択肢があるという話を聞きました。8、9年生は集中して、真剣に話を聞いていました。



【河東中9年生進路講演会】